

◎TVアニメーション 弱虫ペダル

新年早々、取り上げるのはオリンピアの「TVアニメーション 弱虫ペダル」。自転車レースに青春をかける若者たちを描いたテレビアニメがモチーフで、原作のキャラクターや名シーンをうまく生かしたゲームフローと演出により、走り切った達成感、爽快感をプレイヤーが味わえます。

どんな作りになっているのか、クローズアップしてみたいと思います。

BB（純増約204枚）、RB（同約60枚）と、1セット40G+αのART（純増約1.6枚/G）で出玉を獲得。ART中は液晶演出で七つのエピソードが楽しめる。



©TVアニメーション弱虫ペダル製作委員会
©TVアニメーション弱虫ペダルGR製作委員会

自転車レースの爽快感を再現

本機はA+ART機で、コイン単価は約2.7円です。ベースは50枚当たり約34G、ボーナス初当たり確率は1/147.6~1/127.5、ART初当たり確率は1/399.7~1/251.5。出玉率は96.5%~110.2%です。

天井は、第1天井が500Gで、ボーナスが確定。第2天井が777Gで、ARTが確定。RB成立時のART非当選が9回続いた場合も、10回目のRBでARTが確定するという恩恵があります。

■通常時&ボーナス

通常時、特定役などからボーナスを狙い、ボーナスからARTへと繋げていくゲームフローで、ボーナスは、BB（当選確率約1/4000）が純増約204枚、RBが同約60枚。

ボーナス当選と同時にART抽選も行い、BBは、成立した時点でARTが確定。BB中は毎ゲーム、G数上乗せ特化ゾーンの抽選を行います。

一方、RB成立時のART期待度は30%。RB消化中は毎ゲーム、ARTを抽選します。ART当選を告知する演出は、「最終ゲーム告知」（自転車レースの結果などで告知）と、「完全告知」（キャラクター紹介中に液晶画面がクラッシュする）の2パターン。好きな方を選択できます。

また、通常のRB成立と思いきや、

御堂筋という“キモアツキャラクター”が現れると、プレミアムRB（純増枚数約60枚）に突入。ARTが確定するだけでなく、消化中は毎ゲーム、G数の上乗せを行い、最大300G超の上乗せが期待できます。

■ART

ARTは1セット40G+αで、純増約1.6枚/G。ART中は、レア役などから上乗せ特化のチャンスゾーン「エピソードRIDE」突入を目指します。

「エピソードRIDE」は11~14G継続（この間、ARTのG数の減算はストップ）。対戦相手に勝てば、ゲーム数の上乗せ、もしくは上乗せ特化ゾーンを獲得できます。

■上乗せ特化ゾーン

上乗せ特化ゾーンは、「総北アタック」「一蹴入魂」「御堂筋バースト」と、それぞれ演出の異なる3種類を搭載。

「総北アタック」は10G+αで、平均上乗せは80G。「一蹴入魂」は1G完結で、キャラクターのカットイン演出が発生するつど、ゲーム数が上積みされます（平均上乗せは80G）。「御堂筋バースト」は3G+αで、御堂筋が出現するつど、ゲーム数を上乗せ。平均上乗せは200Gです。

ART終了後は、「あきらめない心ゾーン」（3G+α）に突入。全役で

ART引き戻し抽選を行い、ベルでも40%の期待度で遊技客を引きつけます。

市場導入は1月10日で、販売台数は約1万台とか。

最近のアニメとのタイアップなので、シニア層への訴求力は弱いかもしれませんが、スペック的には遊びやすく、上乗せ特化ゾーンで獲得できるG数も高め。ARTのロング滞在が見込め、初代「モンキーターン」のような匂いがします。

ARTの引き戻し率も40%を超えているため、引き次第でARTを繋いでいけるのも魅力。新基準機で指摘されることのある、通常時の退屈感についても、ボーナス確率が軽めで、アツい演出の出現頻度も高いせいか、まったく感じませんでした。打ち続けてもらえる可能性を秘めた台だと思います。

ヒット機種がなかなか出ない新基準機ではありますが、総販売台数も適正なので、導入店舗は長期稼働が見込めるのではないのでしょうか。

PROFILE

糸柳達成（いとやなぎ たつなり）
株式会社アテイン 代表取締役
関東老舗ホールで店長として新規・リニューアル含めて6店舗を経験。その後経営コンサルタントとして独立して10年。業界歴は27年以上。現在は、経営コンサルタントのほかにも、TV出演、コラム執筆、セミナー、集客企画などマルチな活動を行う。TwitterなどのSNSやニコ生などのウェブを使った動画配信による情報発信も（詳しくはitoyanagi.net参照）。